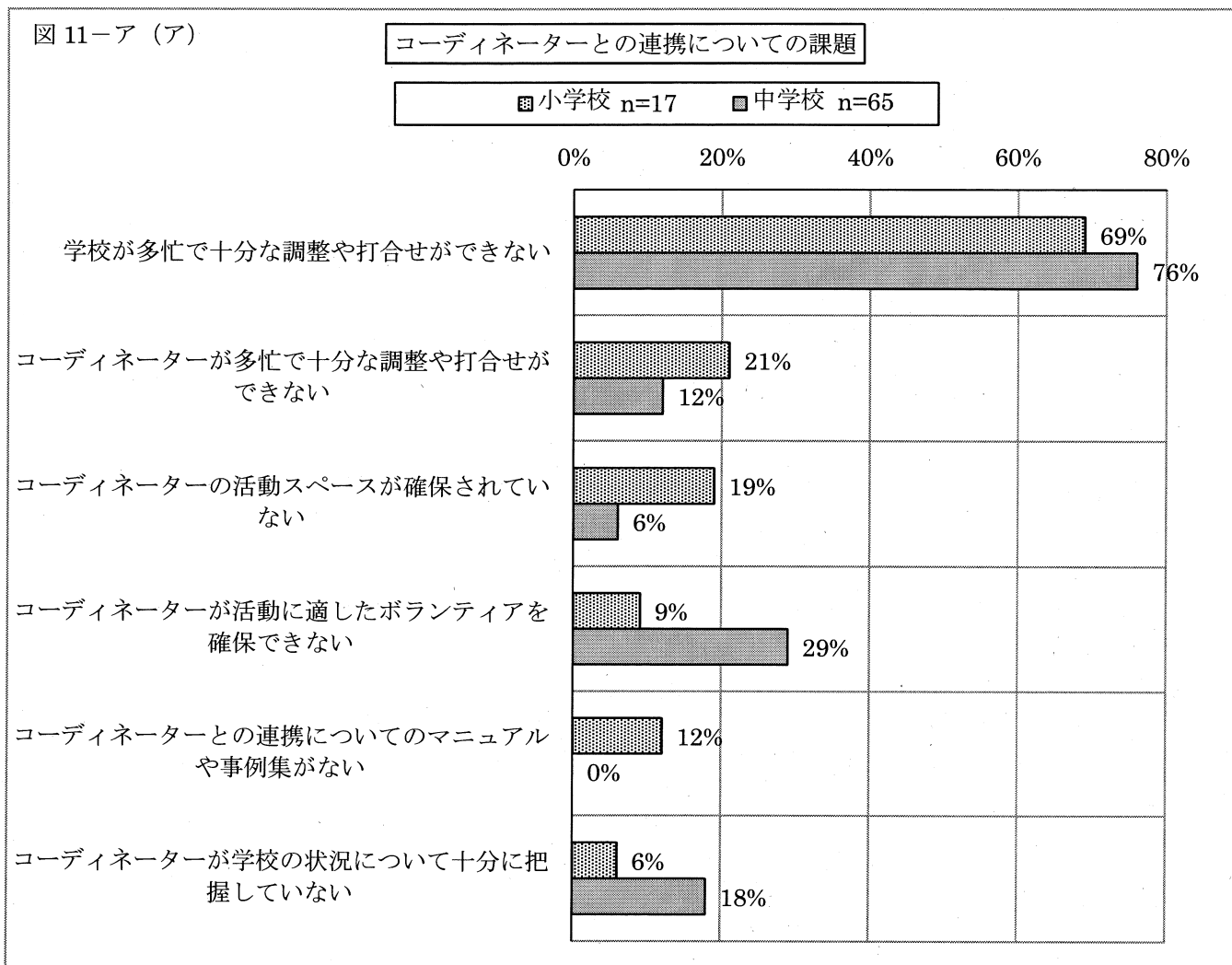


(11) 課題
 ア 学校からの課題
 (ア) コーディネーターとの連携について

地域コーディネーターとの連携についての課題は何ですか。(主なものを3つまで)

学校間 2 (3)



小学校・中学校ともに、「学校が多忙で十分な調整や打合せができない」と回答した担当者が圧倒的に多く、学校の忙しい現状が浮かび上がっている。

中学校では「コーディネーターが活動に適したボランティアを確保できない」が29%で小学校と比較して高い割合となっている。

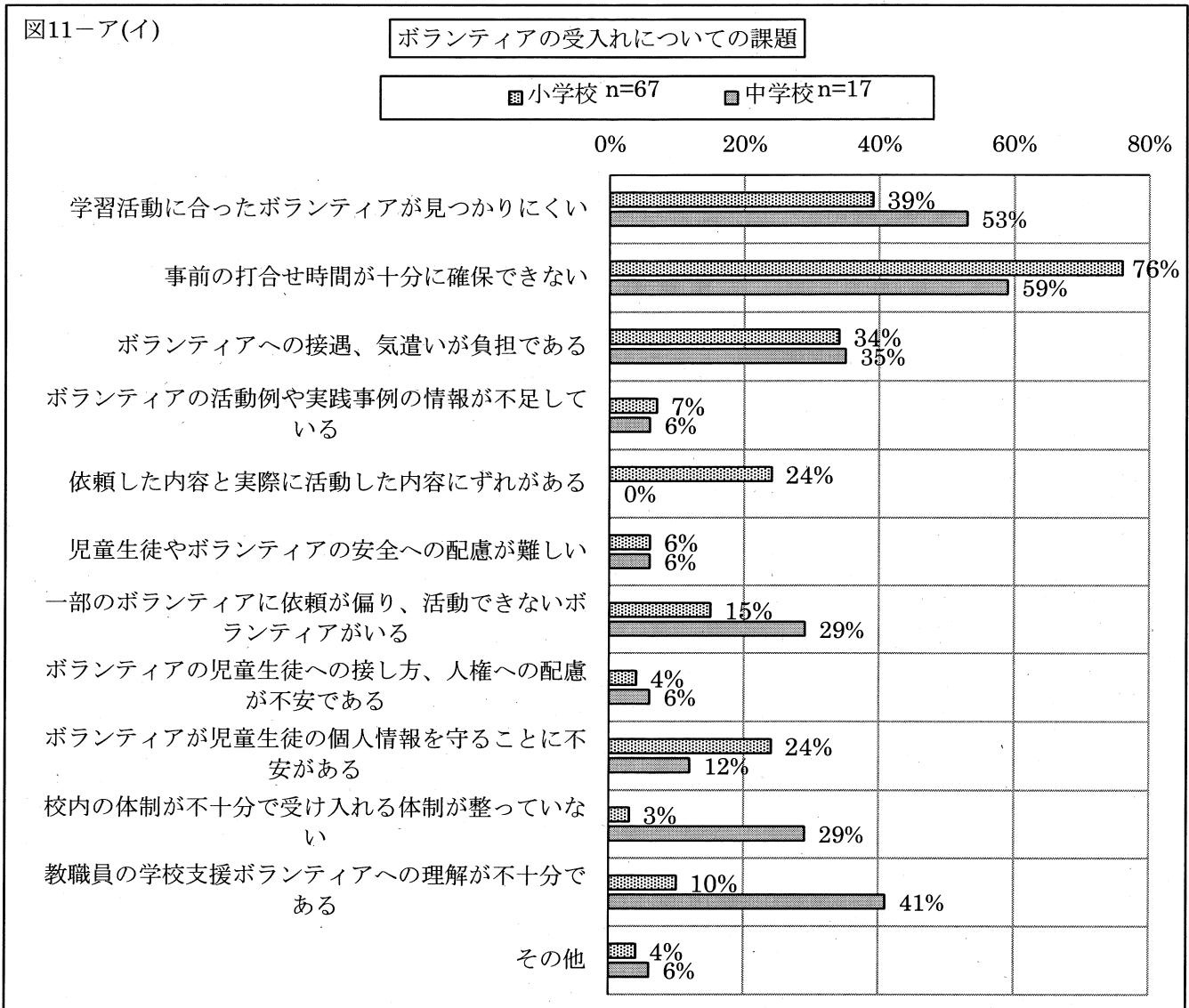
コーディネーター連携課題についての自由記述より

- ・現在のコーディネーターが辞めた場合の次の候補者の選出について。
- ・コーディネーターを引き受けてくれる方がいない。
- ・昨年までは、コーディネーターの謝金が出ていたので定期的に来校していたが、今年度は謝金が出なくなったので、コーディネーターの活動の補償が無くなり連絡打合せが円滑にできなくなった。
- ・コーディネーターの継承者が見つかりにくい。
- ・コーディネーターの確保（現在の協力者及び後継者）

(イ) ボランティアの受入れについて

ボランティアの受入れについての課題は何ですか。(主なものを5つまで)

問 2(4)



小学校・中学校ともに「事前の打合せ時間が十分に確保できない」という回答が最も多く、次に「学習活動に合ったボランティアが見つかりにくい」の割合が高かった。

中学校では「教職員の学校支援ボランティアへの理解が不十分である」、「校内の体制が不十分で受け入れる体制が整っていない」が、小学校と比較して高い割合である。

また、「ボランティアへの接遇、気遣いが負担である」は、小学校 34%、中学校 35%と比較的高い割合となっており、学校がボランティアの受入れに負担を感じている様子もうかがえる。

ボランティア受入れについての自由記述より

- ・ボランティア受入れまでのフローチャートがない。新規にボランティアを受け入れるために、チャートを作る必要がある。
- ・ボランティア登録はしてくれるが、実際にお願ひする場合の日程調整が難しい。
- ・ボランティアとして登録してもらったが活躍できなかった方がいた。
- ・ボランティアとの連絡に時間がかかる。
- ・定期的に来てくださるボランティアは受入れしやすいが、授業との絡みがあるものは教職員との打合せ日時調整、場所の確保など、学校行事もたくさん入っているため、かなり苦慮しながら入れている。

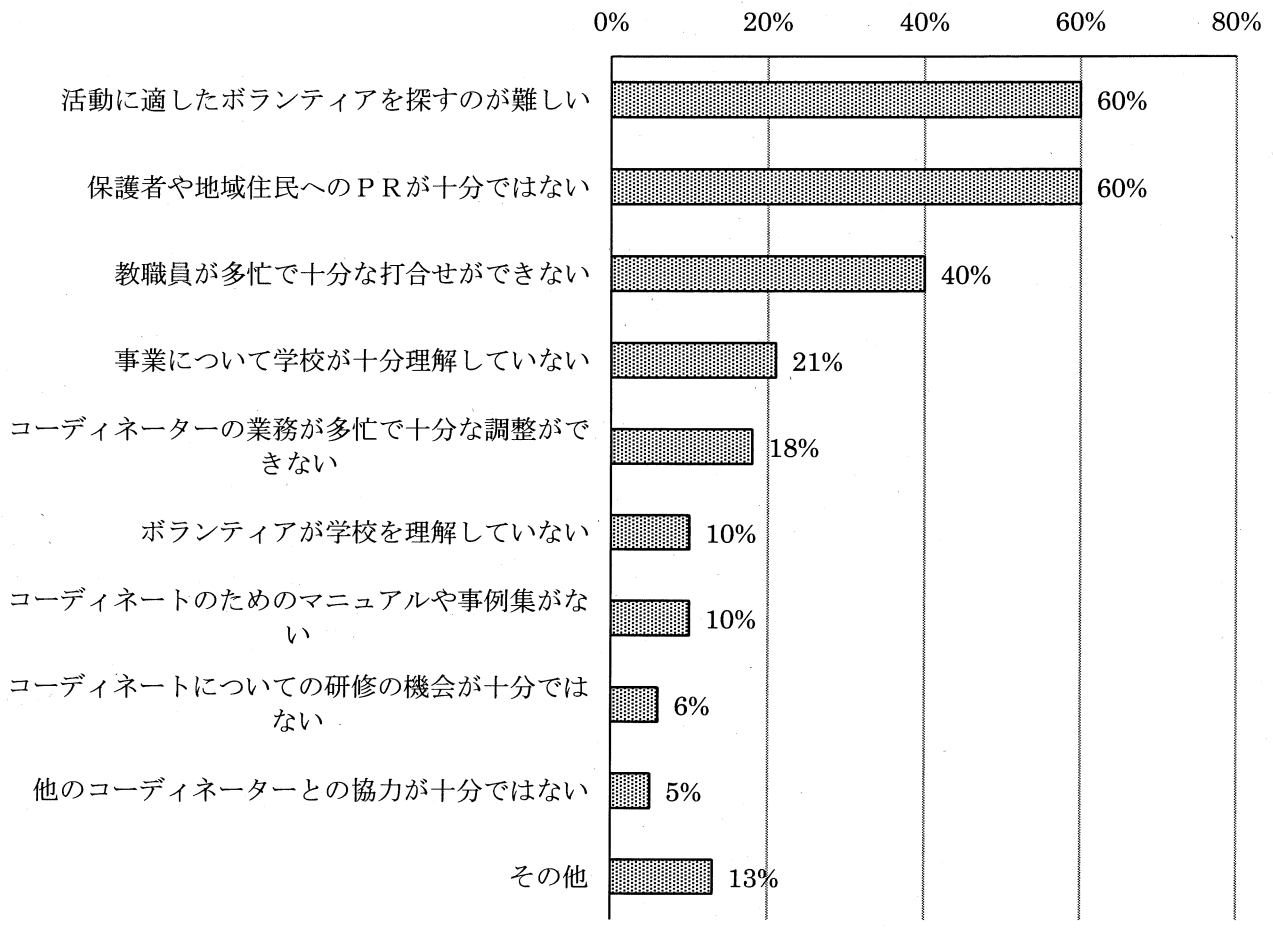
イ コーディネート上の課題

コーディネート上の課題は何ですか。(主なもの3つ)

コーディネーター問2(3)

図 11-イ

コーディネート上の課題 n=61



「保護者や地域住民へのPRが十分ではない」、「活動に適したボランティアを探すのが難しい」が60%と高い割合になっていることから、ボランティアを確保することがコーディネート上の大きな課題であることが分かる。「教職員が多忙で十分な打合せができない」は40%で、3番目に高い割合であった。

その他 コーディネート上の課題についての自由記述より

- ・ 依頼者とボランティアさんの間が快適にスムーズに活動を行うにはどう動けばよいか。
- ・ 保護者の求めているボランティア活動と学校の求めるボランティア活動の内容及くわからない。
- ・ 学校づくり地域協議会役員の確保と継続性の維持。昨年来の予算の減額によりコーディネーターに対する謝金がなくなった。ボランティアベースと理解はしても、実務の多さに、ボランティアといいきれないものを感じる。
- ・ コーディネーターが各地域とのコミュニケーションを大切にして活動すること。
- ・ 他地域との情報交換の場が少ない